

「学校適正配置等に関する方針」概要



結城南中学校区の小学校5校を1校に統合し、令和9年4月を目標に、結城南中学校の敷地内または隣接地に設置します



“すべては将来を担う子どもたちのために”

新型コロナウイルス感染症の拡大により、子どもたちを取り巻く教育環境は、大きく変化しました。入学式・卒業式など節目となる行事、思い出づくりの修学旅行・遠足、部活動やコンクールの各種大会など、あらゆる学校行事や活動が制限されました。しかし、子どもたちは、そのような苦境にも負けず、今できることを精一杯取り組んでいます。タブレット端末を使用したオンライン授業や行事のライブ配信などは、これからの学校現場において、重要な役割を担うことになるでしょう。

子どもたちにとって、生まれた環境や場所、通う学校によって、受けられる教育の形態や出会う友人の数、通学時の安全性などに差が生じることは、避けなくてはなりません。だれ一人取り残すことなく、本市の全ての子どもたちが大きく成長し、結城市の、日本の、そして世界の将来を担う人材になってくれることを期待しています。学校の小規模化に対して安易に解決策を提示するのではなく、多くの方々の知恵をお借りしながら、議論を進めていきます。

図 市学校教育課 学校再編係 TEL 34-0376

【学校再編の具体的内容】

1 現在、結城南中学校区にある小学校5校を1校に統合する

特定の学校に吸収されるものではなく、対等な新設統合とします。

2 統合の時期は、令和9年4月を目標とする

新設統合校はできるだけ早期の開校を目指します。

3 新設統合校の場所は、結城南中学校の敷地内または隣接地とする

新設統合校は、小中一貫教育を推進するため、施設一体型または施設隣接型の小中一貫校とし、結城南中学校の敷地内または隣接地に設置します。

4 新設統合に向けた推進委員会を設置する

基本構想・基本計画の策定や小中一貫校の設置に向けた具体的な事項は、推進委員会を設置し、協議していきます。

5 小学校跡地の利活用などを検討する

公共施設の適正配置に関する方向性や地域福祉としての在り方を双方から協議し、本市の将来像を見据えて、あらゆる可能性を検討します。

6 そのほかの中学校区については、時期を見極めて学校再編を実施する

小中一貫教育を見据えて、現在の小中連携の取組をさらに推進します。

【結城南中学校区の適正規模化】

1 小学校の統合は「新設統合」とする

小学校の統合は、一部の学校が特定の学校に吸収されるものではなく、対等な統合とします。子どもたちにとってより良い教育環境となるよう新しい小学校を創立するという考え方で進めます。

2 児童の通学時の安全確保に考慮する

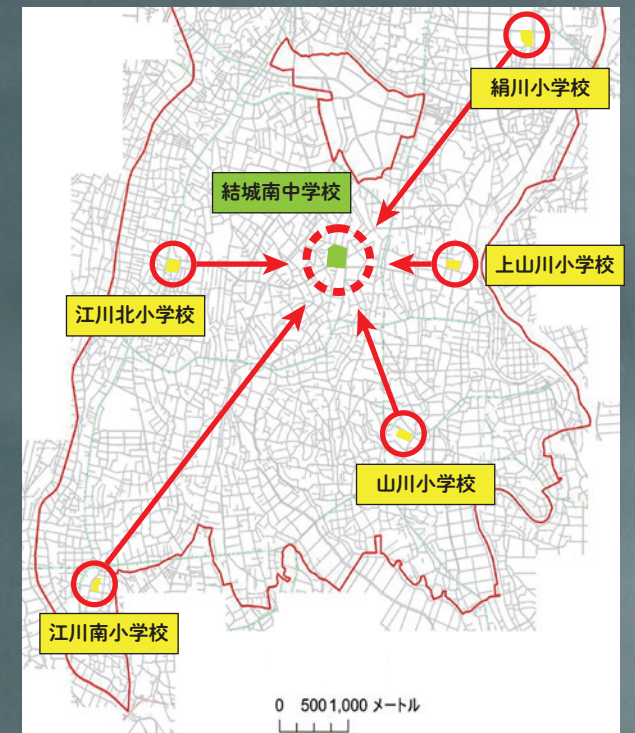
通学時の安全確保や負担軽減などを考慮し、スクールバスの導入や市公共交通との相互利用の検討を進めます。

3 これまでの地域コミュニティを活かす

現在行われている地域のコミュニティ活動（小学校ごとの活動）の単位をくずさないよう考えます。

4 既存施設・敷地の利活用について検討する

新設統合校は、できるだけ現在の結城南中学校の校舎や敷地を有効活用します。新設統合校にとって十分な校地であるかどうか、既存の校舎や施設などを利用・増設する場合は、必要な教室数やグラウンドなどが確保できるかどうかを考慮します。



適正規模化の検討図